

緑化用 ベンレート[®] 水和剤

有効年限 4年
500g×10袋

■適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベノミルを含む農薬の総使用回数
西洋芝(ペントグラス)	葉腐病(ブラウンバッチ)	2,000~3,000倍	発病初期	6回以内	1m ² 当たり2ℓ散布	6回以内
		1,000~2,000倍			1m ² 当たり0.5ℓ散布	
	ダラースポット病	1,000~3,000倍		6回以内	1m ² 当たり0.2ℓ散布	
	炭疽病	400倍			1m ² 当たり0.5ℓ散布	
西洋芝(ケンタッキーブルーグラス)	紅色雪腐病	1,000倍			1m ² 当たり0.2ℓ散布	
西洋芝(ペレニアルライグラス)						
日本芝(こうらいしば)	カーブラリア葉枯病	400~800倍				

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤および同系統の薬剤の連続使用によって薬剤耐性菌が出現し、効果が劣った例があるので過度の連用をさけ、なるべく作用性の異なる薬剤を組み合わせて使用してください。
- エトフェンプロックス乳剤またはダイアジノン乳剤と混用した場合、凝固物を生成するため混用をさけてください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

⚠ 安全使用上の注意

- 眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。万一眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないように注意してください。万一付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落してください。
- 使用に際しては、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また薬剤を吸い込んだり、浴びたりしないように注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをし、衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。

成分・性状・安全性

製品名	緑化用ベンレート水和剤	
有効成分 含有量(%)	ベノミル···50.0%	
性 状	類白色水和性粉末 45μm以下	
人畜毒性	普通物 急性経口毒性 ラット LD ₅₀ >5000mg/kg	
魚 毒 性	コイ LC ₅₀ (48hr) 14ppm ミジンコ LC ₅₀ (3hr) >1000ppm	

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○小児の手の届く所には置かないでください。

SCA GROUP
住友化学アグログループ

株式会社日本クリーンアンドガーデン

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号
TEL(03)3669-5888 FAX(03)3669-5889
<http://www.nihongreenandgarden.co.jp>

芝生用殺菌剤

緑化用 ベンレート[®] 水和剤



予防と治療

2つの効果で 芝生を守る



特長

緑化用 ベンレート[®] 水和剤

幅広い適用・殺菌スペクトラム

ダラースポット・ブラウンパッチ・炭疽病・カーブラリア葉枯病・紅色雪腐病に優れた効果を示します。

浸透移行性に優れ予防と治療効果を發揮

病原菌に直接接触して作用し、胞子発芽阻止と菌糸の芝への侵入を防いで優れた予防効果を示します。さらに芝のクチクラ層に速やかに浸透して感染部に到達し、胞子形成阻止と病斑の拡大阻止に優れた治療効果が期待できます。

安定した残効性

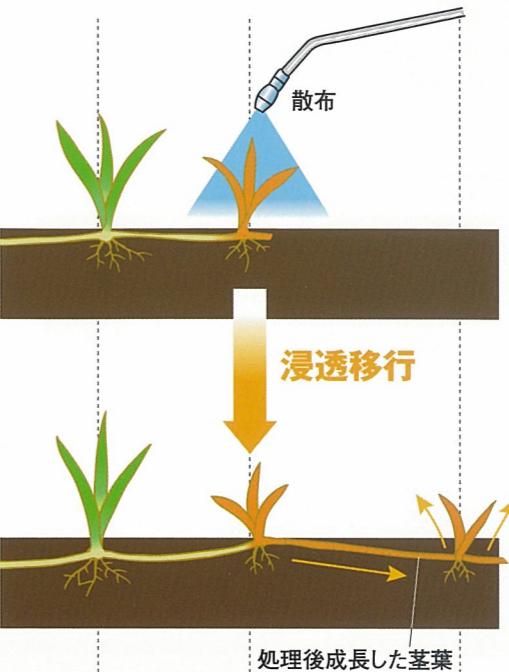
高い浸透移行性と優れた耐雨性によって効果が安定します。また有効成分のベノミルが、徐々に活性成分に変化するため長期間効果が持続します。

作用機作 と特性

- 有効成分のベノミルは水溶液や植物体の中でカルベンダジム(MBC)に変化し、この成分が殺菌作用を示します。
- 主な芝の病原菌が属する子のう菌類は、細胞分裂をする際に紡錘糸を形成します。その主成分であるタンパク質のβ-チューブリンに、MBCが結合して分裂を阻害し、病原菌は増殖できずに死滅します。

ベントグラスでの浸透移行性について

芝生に散布されたベンレートは植物体に浸透していきます。通常上位葉への移行が多くなっています。この浸透性が内部に侵入した菌糸に直接作用して治療効果を発揮します。なお、根部から吸収されると速やかに植物全体に広がります。



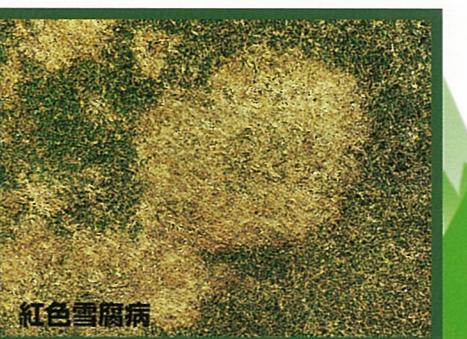
浸透性・移行性試験

●試験方法：三節期のベントグラスのはふく茎先端の葉身に500ppmのベンレートを処理。4日後にはふく茎を十分水洗し、表面についているベンレートを取り除いた。2日間、-18°Cで保存後はふく茎を4つの部分に切り離し、それぞれの部分にベンレートが浸透しているかどうかを、ジャガイモ寒天培地上でベニシリウム菌の阻止円を測定して判定した。

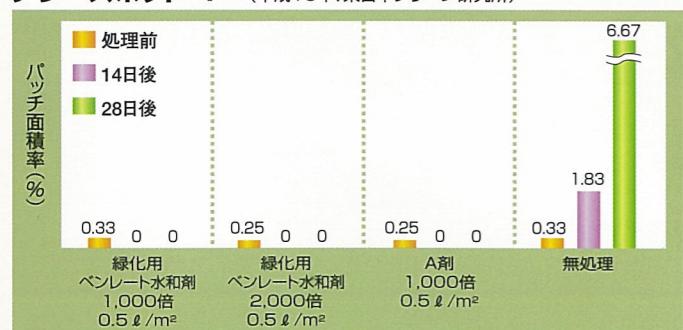
●試験結果：処理時以後に生長した部分にもベンレートが存在することが認められ、ベンレートは葉面からも吸収されることが確認された。またこのテストから、葉面から吸収されたベンレートは上位葉へは移行するが、下位葉へはほとんど移行しないことも判明した。

(1971年5月号発表:W.A.Mayer,
J.F.Nicholson, J.B.Sinclair
イリノイ大学)

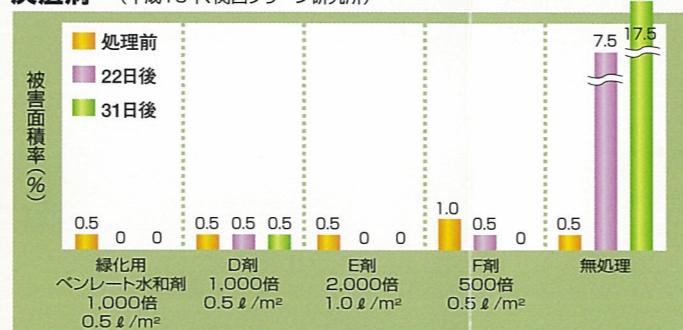
各種病害への効果



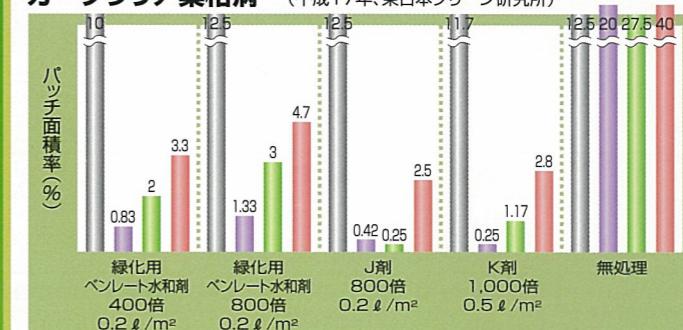
ダラースポット-1 (平成16年、東日本グリーン研究所)



炭疽病 (平成16年、関西グリーン研究所)

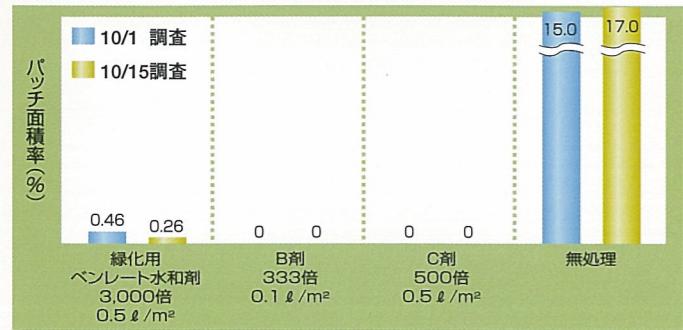


カーブラリア葉枯病 (平成17年、東日本グリーン研究所)

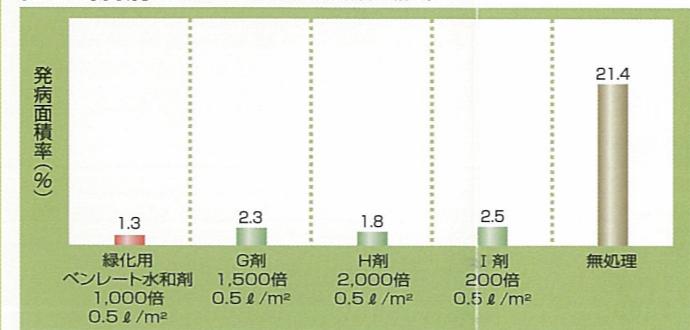


●程ヶ谷CC
●発生状況：多～甚発生
●品種：コウライシバ
1区2m²、3区制
●散布：7/11,25
ジョロで散布
●調査：7/11,18,25,8/2
にパッチ面積率を調査
●薬害は認められなかった。

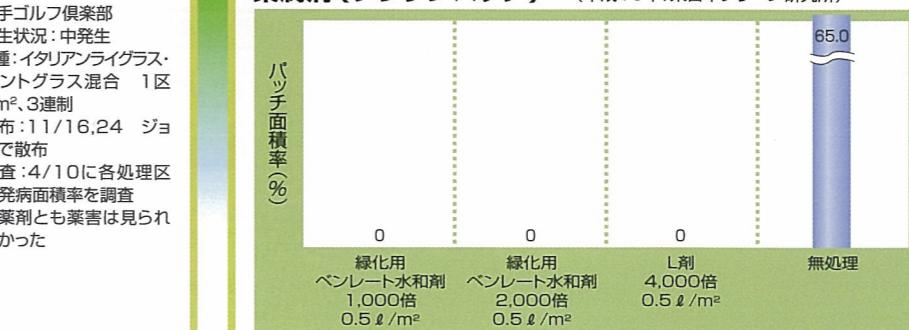
ダラースポット-2 (平成17年、新中国グリーン研究所)



紅色雪腐病 (平成18年、岩手県植物防疫協会)



葉腐病(ブラウンパッチ) (平成16年、東日本グリーン研究所)



●程ヶ谷CC
●発生状況：甚発生(処理時は発生前)
●品種：ベンクロスペントグラス 1区6m²、3連制
●散布：5/31,6/14
ジョロで散布
●調査：6/28に被害面積率を調査
●薬害は認められなかった。